

# 令和2年度 農林水産部 重点目標

	重点事項	成果目標
1	<p><b>新総合計画の着実な実行により、農林水産業の成長産業化を進めます。</b></p> <p>新総合計画 &lt;農林水産分野&gt;</p> <p>■ICT活用、異業種連携推進で農林水産業収益力向上</p> <p>スマート農林水産業、研究機能強化、市場の新機能強化、農地集積促進、都市農業振興、畜産生産基盤強化、耕畜連携、セーフティネット加入促進、ICT林業の展開、養殖生産力向上</p> <p>■京都産農林水産物のブランド販売力強化</p> <p>ブランド規格改良、ブランド米、宇治茶プレミアムブランド、6次産業化、100%メイドイン京都、健康機能性、海外戦略、GAP・オーガニック、歴史ストーリー活用、ファストフィッシュ、漁観連携、ジビエブランド、家畜防疫</p>	<p>① <b>生産活動の自動化や環境データ活用などにより農林水産業改革を推進します。</b></p> <p>○ 新産業創造・成長に向け、ICTやAI、ロボットなどの先端技術の現場導入を加速化するとともに、農林水産技術センターと企業や大学等の研究機関が連携した「スマートアグリ・イノベーションセンター（仮称）」の設立など農林水産業の改革を推進します。</p> <p style="text-align: right;">&lt;自動運転農機などスマート関連技術の導入件数：25件&gt;</p> <p style="text-align: right;">&lt;「農林水産技術センター」機能強化構想の策定&gt;</p> <p>② <b>業務用加工野菜の産地化を府域全体へ展開し、地域農業の活性化を図ります。</b></p> <p>○ 農業者と食品加工関連企業、行政等が連携したコンソーシアムを形成し、業務用加工野菜の産地化を推進する流れを中・北部地域にも広げます。</p> <p style="text-align: right;">&lt;コンソーシアムによる中・北部の業務用加工野菜の作付目標面積：50ha&gt;</p> <p>③ <b>農林水産物加工品などの販路開拓・商品開発を加速化し、新たな需要に対応します。</b></p> <p>○ 「京都宇治玉露 玉兔」や冷凍丹後とり貝の新規販路開拓、京のブランド製品等を使用した加工品開発、中食サービスへ食材提供する新規事業展開など、京都産農林水産物の新たな需要を喚起します。</p> <p style="text-align: right;">&lt;瓶入り宇治茶ドリンクプロモーションによる新規取扱店の獲得：50店舗&gt;</p> <p style="text-align: right;">&lt;京のブランド製品等を使用した新商品開発：130件&gt;</p>

□は、取り組んでいる事項、\_\_\_は、予定している事項

# 令和2年度 農林水産部 重点目標

	重点事項	成果目標
1	<p>■次代を担う農林水産業人材の確保・育成</p> <p>京の農産物輸出サポート隊、<u>アグリビジネスグローバル人材養成</u>、<u>ベンチャーマインド研修</u>、畜産応援隊による畜産後継者育成、<u>森林アドバイス人材養成</u>、<u>アグリウーマンアワード制度</u>、農業法人強化による人材確保、半農半X推進、シニア世代の取り込み、漁業塾開設によるスキルアップ</p> <p>■農山漁村の持続化に向け農地・森林の適正管理</p> <p>集落営農法人化、産地間リレー生産・出荷体制、<u>森林管理サポートセンター設立</u>、<u>ICT林業現場普及</u>、<u>循環利用森林の拡大</u></p>	<p>④ <u>スマート林業を推進し、行政と林業事業体の連携による林業再生を目指します。</u></p> <p>○ 新たな森林管理システムの着実な推進による、森林施業の集約化と高性能林業機械やドローンなどのICTを活用した効率的な施業によって、林業事業体の経営力向上を図り、素材生産量増加による林業の再生を目指します。</p> <p>＜新たな森林管理システムを支援する森林経営管理サポートセンター（仮称）の設置＞</p> <p>＜高性能林業機械の導入など経営力向上に取り組む林業事業体：15事業体＞</p> <p>⑤ <u>府内の木材シェアの6割を目指して、府内産木材の利用を促進します。</u></p> <p>○ 住宅用建材に加え、商業施設や観光施設等の非住宅分野への新たな需要開拓を、商工関係団体を始め、林業関係、建築関係などの参画による「府民会議」の設置などにより、府内建築物での府内産木材利用の大幅アップを目指します。</p> <p>＜府内産木材を利用した多くの府民が集う商業施設等：14件＞</p> <p>＜府内産木材認証制度の証明材を取り扱う新規事業体：25事業体＞</p> <p>⑥ <u>京都の独自性や多様性を生かした農業ビジネスを展開します。</u></p> <p>○ 「食の京都」をキーワードに地域の注目食材を活用した魅力向上や国内外での認知度向上を図り、「食」を目的としたインバウンドをはじめとした観光誘客を促進し、新たな農業ビジネスを展開します。</p> <p>＜農林水産物直売所等にイートイン機能等を備えた「食の京都TABLE」の整備：2件＞</p>

□は、取り組んでいる事項、\_\_\_は、予定している事項

## 令和2年度 農林水産部 重点目標

	重点事項	成果目標
2	<p style="text-align: center;"><b>WITHコロナ社会に対応した 農林水産業の振興を図ります。</b></p>	<p>① <u>産・学・公・民が交流し、未来の「中食」供給に向けた研究・開発を推進します。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 超高齢化・少子化社会の到来を見据え、食品関連企業、大学・専門学校、行政がコラボし、安心・安全で健康に良い「中食」の研究・開発や地域の農産物を用いた「中食」加工品の開発などを行う「オープンイノベーションラボ」の整備を進めます。</li> </ul> <p style="text-align: right;">＜オープンイノベーションラボの整備に向けたワーキング会議の開催：2回＞</p> <p>② <u>地域外住民やリモートワーク住民等も参加する新たなコミュニティを創出します。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域に関わる大学や企業、縁（ゆかり）がある者等の地域外ファンやリモートワークする住民など、多様な人材を巻き込むことで、集落営農などの地域活動の組織体制を強化・発展させ、持続的で活力に満ちた農山漁村コミュニティを創出します。</li> </ul> <p style="text-align: right;">＜地域外住民やリモートワーク住民等も参加して活動した地区：40地区＞</p> <p>③ <u>WITHコロナ社会に必要な農林水産業・食関連施策の検討を進めます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症対策危機克服会議（仮称）において、WITHコロナ社会において対応すべき課題の整理、新しい社会の展望、対応すべき産業施策などについて検討し、戦略を作成します。</li> </ul> <p style="text-align: right;">＜克服会議（食関連産業部門）の開催：5回＞</p>